



ないものはない

どこか有名な場所は
ないんですか。

写真を
見てみよう



「あ、あれが海士町かな。」

鳥取県境港からフェリーで三時間。ようやく島が見えてきました。島の人々が手をふつてくれています。

海士町は島根県の日本海に浮かぶ島にあります。島に着くとこうすけは、あるポスターに気付きました。

「『ないものはない。』うーん。この島には何もなくて言いたいのかな。何もないのに、自信がありませんで不思議だね。」

首をかしげるこうすけに、お父さんが言いました。

「もしかして、『この島には、くらしに必要なものは十分ある。』という意味をこめているんじゃないかな。」



「お父さん、その通りです。」
近くにいた観光協会の方が声をかけてくれて、
「この島は、人口二千三百人ほどの小さな島です。コンビニもなければ、大きなスーパーもありません。本土からはなれていて、運ぶのに時間がかかるため、物のねだんも高いです。でも、この島にはたくさんすばらしいところがあるんですよ。」

と、しょうかいしてくれました。こうすけは、聞きました。

「どんな所があるのですか。」

「まず後ろをふり向いてみてください。」

「わあ。きれい。」

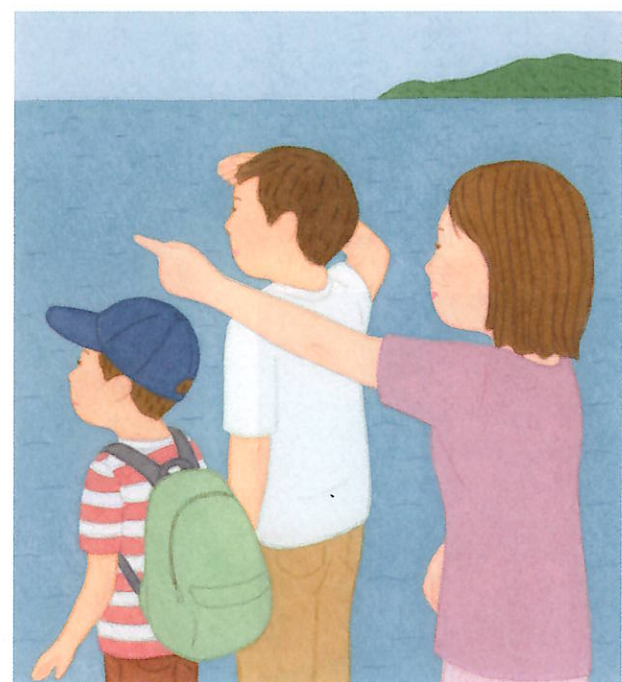
こうすけは思わず大声を上げました。

「空と海がくっついていてみたいだね。」

「太陽の光で海がきらきらかがやいているね。」

お父さんもまぶしそうにながめました。

「そうなんです。わたしのおすすめの場所の一つ」





海士町明屋海岸

です。

ここからだ、海と太陽がきれいに見え
ます。」

(何でもない場所が、おすすめの場所なん
だ。)とこうすけは思いました。

その後も、観光協会の方が島についてしよ
うかいしてくれましたが、観光地を教えてく
れたわけではありません。

「田中さんは、名産のイカをとっています。

早朝なら、イカつり体験ができますよ。海
の上から見る日の出は、なんともいえない
美しさです。」

「このみかんは崎みかんとよばれていて、
本当においしいです。」

こうすけは、また首をかしげました。
「あの、どこか有名な場所はないんですか。」

「古くから受けつがれてきた場所やお祭りもあり
ますよ。昔この島に住んでいた後鳥羽上皇も有
名です。この島では、そうした観光名所と同じ
くらい、人と人との交流を大切にしています。
短い旅行の間に島の人とふれ合うことで、島の
文化などを知ってもらいたいと思っています。」
その話を聞いて、こうすけは自分の住んでいる
地いきについて考え始めました。このことと同じで名
所や行事もある。すてきな人もたくさんいる。自
分だけのすてきな場所もある。話を聞きながら、
(自分の町なら、どうやってしようかいできるだ
ろう。)と思いました。

(文 編集委員会 / 絵 川上和生)



崎みかん畑



名産のイカをほして
いる様子

* 後鳥羽上皇
第八十二代てんのう。島
根県隠岐郡海士町でなく
なつた。

考えよう

1

観光協会の人の話で何が印象に残ったかな。

2

あなたの住んでいるところには、どんなよき
があるだろう。

10

5

15

10

5